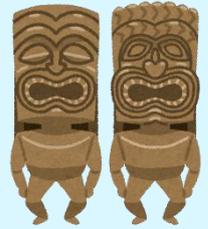




Hawai'i Project Monthly News & Article



Ekahi



Special Report



@Mayor's Office In Hilo / ヒロ郡長室にて

右から **Mitchel D. Roth** 郡長、安野教諭、シハタ・アヤ教諭（ヒロ高校）・菊池教諭

From Hawai'i Project in 大島高校



行程

【10月9日(日)】

19:55	成田空港	発	ハワイアン航空 HA822 便	約7時間フライト
8:15	ホノルル空港	着		
11:50	ホノルル空港	発	ハワイアン航空 HA202 便	約1時間フライト
13:00	ヒロ空港	着		
16:00	Grand Naniloa Hotel Hilo a DoubleTree by Hilton チェックイン			

【10月10日(月)】 Hawaii Nature Explorers 長谷川久美子さんによる Nature Guide Day1

7:45~ 8:00	リチャードソン・ビーチパーク	大島の黒砂とハワイ島の黒砂の比較
8:15~11:00	ロコワカ・フィッシュポンド	水鳥の誠意測地環境再生プロジェクトの参加
12:00~13:30	ハワイ大学ヒロ校	昼食
13:45~14:30	イミロア・アストロノミー・センター	固有種庭園にて植物観察
14:45~15:00	レインボー・フォールズ	レインボー・フォールズ(滝)見学と神話学習
15:15~16:45	アカカ・フォールズ州立公園	州立公園にて地形や外来種について学習
17:15~17:45	カメハメハ大王像	ハワイの歴史の一部に触れる
18:00~18:45	Café 100 で夕飯をとり、ホテルへ	

【10月11日(火)】 Hawaii Nature Explorers 長谷川久美子さんによる Nature Guide Day2

7:15~ 8:15	Ken's House of Pancakes	朝食
9:00~ 9:15	ハワイ火山国立公園	ビジターセンターへ立ち寄る
9:15~ 9:45	スチーム・ベンツ	火山蒸気口を見学
9:45~10:00	キラウエア・イキ展望台	
10:00~14:00	キラウエア・イキ・クレーター ナーフク・ラヴァ・チューブ	クレーターや溶岩窟の4時間トレイル
14:00~17:30	チェーン・オブ・クレーターズ・ロード	溶岩が一面覆ったエリアのドライブ
18:00~19:15	カルデラ	夜を待ち、溶岩だまりを見学
19:30~21:00	Taco Bell で夕食をとり、ホテルへ	

【10月12日(水)】

7:30~11:00	ハワイヒロ高校 訪問	シハタ先生の授業に参加&授業見学
11:00~12:00	ヒロ高校カフェテリア	生徒に混ざって昼食
12:00~13:00	ヒロ高校校長と面会	姉妹校締結について意思表示
13:00~16:00	Hawai'i Japanese Centre	日系人の歴史をたどる
16:00~17:00	Mayor's Office 訪問	Mitch Roth 氏と再会!
17:00~21:00	Roth 郡長夫妻&シハタ先生&Dwayne Mukai さんと夕食をとり、ホテルへ	

【10月13日(木)】

7:30~11:00	ハワイヒロ高校 再訪	Zoom 交流生徒と交流
11:00~12:00	Café Pesto	昼食
12:30~14:00	太平洋津波博物館	ハワイ島を襲った津波の歴史について学ぶ
14:00~16:00	ヒロ ダウンタウン散策	
17:00~21:00	広島県人会 55 周年祝賀会	ご招待いただき、飛び入り参加

【10月14日(金)】

7:30	Grand Naniloa Hotel Hilo a DoubleTree by Hilton チェックアウト	
9:55	ヒロ空港 発	ハワイアン航空HA105便
11:00	ホノルル空港 着	
12:45	ホノルル空港 発	ハワイアン航空HA201 便

【10月15日(土)】

16:00	成田空港	着	
22:00	竹芝港	発	大島行大型船

【10月16日(日)】

6:00	岡田港	着
------	-----	---

目的

1962年に伊豆大島とハワイ島は姉妹島盟約を締結。ハワイ島にとって最古の姉妹都市です。2022年に盟約60周年を迎え、2022年7月28日~30日には Mitchel D. Roth 郡長を始めとする、日本とハワイ島を結ぶ各協会長たち、総勢7名が大島を訪問しました。

大島高校では盟約60周年を控える2020年に Hawaii Project が発足。大島とハワイ島をつなげる虹の懸け橋となるべく、大島高校を代表し、そして大島を代表してヒロ高校と交流を開始しました。

大島の生徒をハワイ島へ連れていくこと。ハワイ島の生徒に大島に来てもらうこと。

ヒロ高校と姉妹校になり、より親交を深めること。

が大きな目標です。が、その前に僕たちは相手のことをどれほど知っている…？

姉妹島盟約60年の歴史以前に、僕たちはハワイ島における日系人の歴史と、そこから始まった日本人とのつながりの深さを理解していません。ハワイ島についてもっと知らなくてはいけないことがたくさんあります。逆に大島のことをもっと伝えなくてもいけません。

今回、約1週間の視察という非常に貴重な機会をいただきました。大島高校、そして大島を代表してハワイ島を表敬訪問し、多くを体験的に学び、つながりを再認識することが目的の旅です。ずばり目的は達成できました。このレポートを通して漏れなく報告いたします！ Don't miss it! Mahalo!

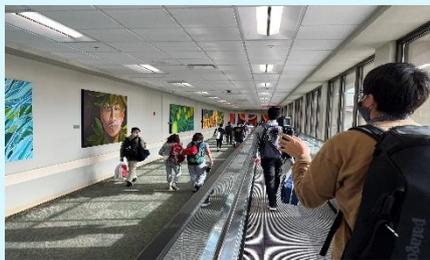
🌸 Day 1 : October 9th

★ さあ行くぞ！ハワイ島！

今回の旅はハワイアン航空（HA）です。



約 7 時間のフライトを経てまずはホノルルに到着。
 時間があつたので周辺を散歩。
 鳩が小さい。生花のレイを販売している **Ray Stand**。
 ホノルル空港内には日本庭園が。福岡県寄贈の石灯籠。
 すでに日本と親密なことがうかがえました。



さらに約 1 時間フライトで
 到着！ハワイ島ヒロ！
 ウッディであたたかい雰囲気
 のヒロ空港でした。



暑いけどじめじめして
 いなくて快適な気候。
10 月ですがみんな夏の
 装いです。



ヒロ空港から目指すはホテルです。そこまでどうやって行く??
 早速サービスカウンターで聞きまくり！なんとハワイ島内市バス「ヘレオンバス」で
 行けそう。しかも今は無料で。なんで?! 調べたところコロナの影響だそうです。
 ヘレオンバスの 2 年半の運行費用として、連邦政府への返金が不要となっている
 米国救済計画法下の救済費 **200** 万ドルと、新型コロナウイルスの対策費約 **450** 万ドル
 を活用しているそうです。



さて、たどり着いたのは滞在中のホーム。**Grand Naniloa Hotel Hilo**。ここを拠点にハワイを視察します！



(画像真ん中は HP より拝借)

🌸 Day 2 : October 10th

★朝のハワイすげえー！朝になって気付いた。

部屋からマウナケアが見える！

朝焼けでまさに「赤富士」のごとし。

毎朝、ホテルのコーヒーを片手にこのマウナケアから
パワーをもらっていました。

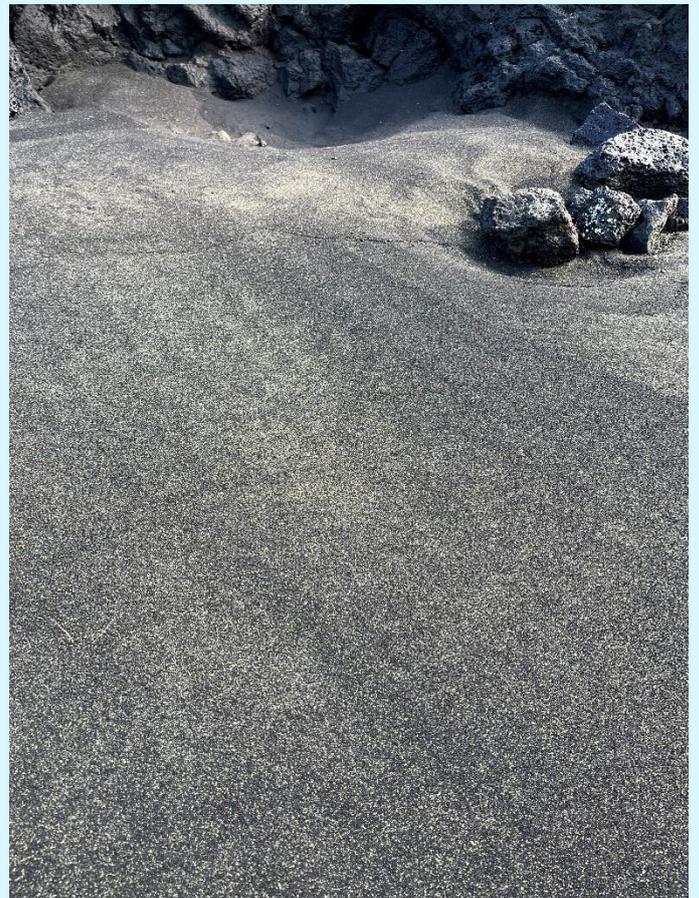


★この日から二日間はネイチャーガイドツアーに参加します。

Hawaii Nature Exploreres 長谷川 久美子さんにお世話になりました。

活動 1 : 大島の黒砂とハワイ島の黒砂の比較

ハワイ島と姉妹島であるのは火山島という共通点から。では互いの黒砂を比較してみよう！
大島の黒砂と比べて緑色に見えるでしょうか？これは火山岩中の玄武岩に含まれるかんらん石。
黄緑色で、ペリドットという宝石の名前は聞いたことがあるのでは？
同じ火山島でも、大島に比べてかんらん石が多く含まれている違いがありました。



👉砂の中に黄緑色のかんらん石が見えますか？大島の黒砂にはない緑味のある砂ですね。

活動2：環境保全活動



長谷川さんは **Aina Ho'ola Initiative** として環境保護活動もされています。
この日は **fish pond** の環境保全活動に参加。

fish pond ⇨ ハワイアンが魚の養殖のために作っていた池のこと。

現在では外来種や環境の悪化により本来の姿でなかったり、州鳥のネネ (**Nene**) が好まない環境になっていたりするとのこと。同活動に参加している **Hailey** とともに外来種の処理をしました。

赤いズボンの **Hailey**。彼女の後ろにはのびのび育った外来種の植物。あまりに茂りすぎてネネが着陸できないのだとか。これを取り除きます。



⇨ 左が理想の環境。きれいになった **fish pond** ではすぐにネネが戻ってきてくれたそうです

この日以降、**Aina Ho'la Initiative** の **Instagram** では日々ボランティアによる活動が報告されています。



～長谷川久美子さんの **Nature Guide** と観光業の考え方～

観光客を多く、広く歓迎することがいいことなのか？

増え続ける観光客による環境被害や、生物が絶滅の危機にさらされてきたハワイでは観光業の在り方を見つめなおしています。長谷川さんも **Nature Tour Guide** として観光業に携わっている立場上、観光客が増えすぎて問題が悪化しないよう配慮しているのだとか。

ハワイを知ってもらいつつ、環境保全の活動に参加してもらい、環境や在来種・固有種について考えてもらうことを狙いとしているそうです。

「大切な、美しい故郷を次世代に引き継ぐために考えなくてはいけないことは、いかに観光産業を
発展させるかではなく、いかに投資し続けるか」。これを **Sustainable Tourism** といいます。

CHECK IT!：ハワイ州観光局による「今後の観光方針」⇨ <https://youtu.be/eRTIzoXfp6E>

活動3：外来種・在来種・固有種を学ぶ

訪れたのはイミロア天文学センター。この日は休館日。しかし狙いは屋内にらず。狙いは固有種庭園。長谷川さんからは固有種・ポリネシア人が持ち込んだ種・在来種の違いを学びました。

固有種：もともとその地に生息しており、その地にしかない種

在来種：もともとその地に生息しており、その地以外にも生息している種

ハワイ島の自然は今や外来種に覆われていて固有種・在来種は少ないんだとか。きれいに見えて、実は外来種…な植物がたくさん。庭園にはさまざまな植物が植えられており、かつてポリネシア人が生活に密接な植物を選別してハワイ島に持ち込んだという背景を学ぶことができました。昔の人は本当に賢い。植物や木から布・家具・船・染料などを生み出したその着眼点や発想力はまさに生きる力。



- ❏ コキオ・ケオ・ケオは固有種 (**Indigenous**)
派手派手なハイビスカスは外来種が多い。

イミロア天文学センターとタロイモ🍠



活動4：ハワイ島の滝をめぐる

最初に訪れたのはレインボーフォールズ (**Rainbow Falls**)
雨が降り出して水量が増えています。このレインボーフォールズはマウナロアとマウナケアの間に位置しています。

ハワイ島の地質は玄武岩質溶岩。穴の開いた多孔質。
雨が降れば溶岩を通して地下に溜まるため、山で雨が少なくとこの滝に流れる川の水量は少なくなり、細い滝になります。

女神ヒナと川底の怪物クナ

この滝の裏には半神マウイの母であり、ポリネシアの月の女神ヒナが住んでいたが、川床に住んでいたクナというヤモリの姿をした怪物がヒナにちょっかいを出し嫌がらせを続けた。

最後は助けを求められたマウイが、クナを退治したという…

この川の名前はワイルク。「破壊的な水」という意味。雨量が増え、川が氾濫するなどして毎年溺れる人が出るようで、この神話はそのような危険性についても教えてくれています。





二つ目の滝はアカカ・フォールズ **Akaka Falls** 落差 **135m**。ここでは主に州立公園内に生えている植物に目を移し、外来種の数の多さとその生命力を目の当たりに。見栄えこそ美しく、派手でかわいい・かっこいい・大きい植物はほとんどが外来種。歴史の中で持ち込まれた植物が、強い生命力や繁殖力で増えたようです。華やかさなどの見栄えを優先したために大切な本来の姿を失いつつある現状を学びました。



入口付近には**"Be Pono"**の看板。自然をあるべきありのままの姿で。人々には**"正しいことをするように"**と呼びかけています。

いくつか項目が挙げられていますが、すべて人々の心に訴えかけているように感じます。厳しく警告・注意をするのではなく、心に呼びかけ、自然を大切にする精神を養う。といった感じでしょうか。**2022年7月末**

に **Roth** 郡長が伊豆大島に来島し、意見交換会をした際にも大島町役場にヒットしたキーワードが**"Pono"**でした。守るべき自然を守るためには手をかけるだけでなく、共生する人々の精神を養うことも重要ですね。みんなでもとう **Love & Peace Mind!**

活動5：カ・メハメハ大王とのご対面

カは英語で言うところの **the** になり、カ・メハメハは「孤独な人」という意味になるそうです。

彼が生まれる前から「ハワイのチーフたちを倒す、島々を統治する力を持つものが誕生する」との予言あり。そしてカ・メハメハ誕生。巨大なハレー彗星が接近し、彼を恐れた…生まれて間も無く両親から引き離され、人里離れた地にて育てられ…といった出生の背景から「孤独な人」と名付けられたようです。



🌸 Day 3 : October 11th

★ 3 日目は天気に恵まれ快晴！この日はいよいよハワイ火山国立公園、キラウエア・イキ・クレーター、そしてナーフク・ラヴァ・チューブのハイキング4時間コースの日。火の女神 **Pele** に会いに…いざ。



上記画像はハワイ島／キラウエア火山の観光ガイド (sakura.ne.jp)より拝借。

昨日に引き続きガイドは長谷川久美子さん。国立公園入り口ゲートから入り、ビジターセンター ⇨ ボルケーノハウス ⇨ ナーフク・ラヴァ・チューブ ⇨ キラウエア・イキ・クレーター ⇨ チェイン・オブ・クレーターズ・ロード ⇨ 夜の火映現象見学！のコースです。途中途中で長谷川さんによるネイチャーガイドを受けつつ、火山を学ぶことができました。

① ボルケーノハウスからの火口見物！

ボルケーノハウス **Volcano House** というレストランのバルコニーから火口を拝む。

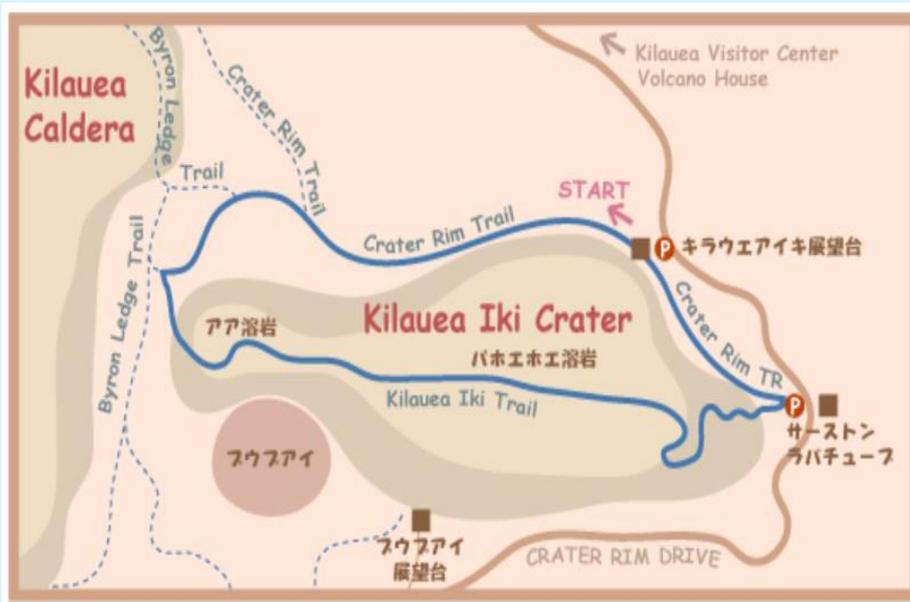


ハワイ火山国立公園から見えるキラウエア火山の火口と立ち昇る蒸気。**2008**年、**2018**年と噴火を起こし、火口はその姿を変えています。

2018年4月から**8**月にかけて崩壊しながら巨大化。すごい生命力です。

ちなみにそれぞれの火口に名前が付けられており、キラウエア火山の火口はハレマウマウ火口といいます。

② ナーフク・ラヴァ・チューブ



キラウエア・イキ・クレーターへ向かってハイキング開始。

展望台駐車場からスタートし、火口を見下ろすようにして、植物が多く自生する林の中を歩く。

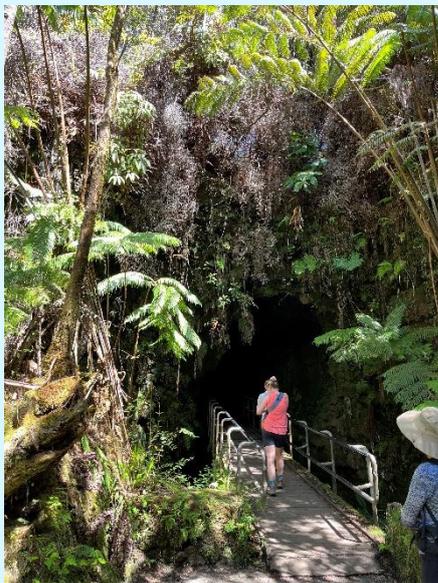
途中のナーフク・ラヴァ・チューブを見学します。

(画像ではサーストン・ラヴァ・チューブと表記されています。)

ナーフク・ラヴァ・チューブは **500** 年前に形成されたとされる溶岩による洞窟。

ラヴァ **Lava** は溶岩を意味します。つまり「溶岩の管（洞窟）」ってことですね。

溶岩は表面は次第に冷え固まりますが、中央部は熱く、流れ続け、最終的に表面だけが残って管のような空洞を残すことがある。これがラヴァ・チューブ。この中を通ってきました。

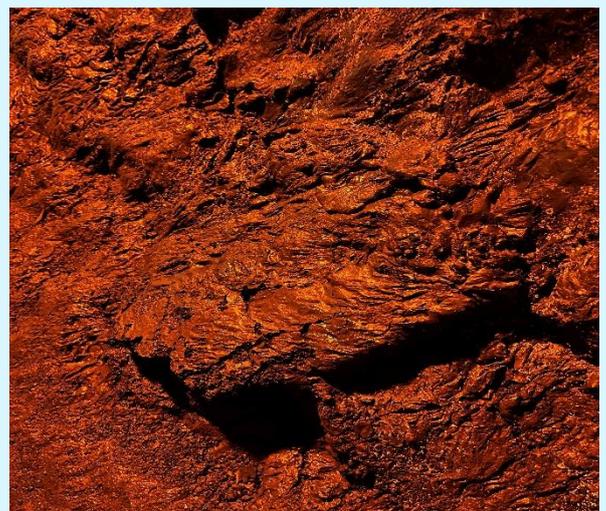


確かに内部の表面はドロツとした形状で固まった表面。

高さも広さも長さも、とにかく巨大…

これが溶岩だったのか…と

想像してみるも、しきれませんでした。



③ キラウエア・イキ・クレーター横断！

ラヴァ・チューブからクレーターへ下り、いよいよ横断です。
ちなみにキラウエア・イキの「イキ」とはハワイの言葉で「小さな」という意味。
キラウエア・イキ・クレーターには火山の噴火による噴石丘ができています。これが小さなキラウエア火山のように見えることからそのように名づけられたそうです。↓



写真では伝わらない
キラウエア・イキの
雄大さよ…

クレーターに降り立つと、コースルートの目印として、ケルンと呼ばれる、溶岩が積まれたものが点々と。
溶岩の上には植物が根付き、ハワイ固有種であるオヒア・レフアも。たくましいです。



火山の歴史・溶岩のこと
外来種・固有種・在来種
ハワイ島の自然について
まさに身をもって体験できた
非常に有意義なハイキングでした！



④ チェーン・オブ・クレーターズ・ロード **Chain of Craters Road**

ハワイ島南東部に広がる、キラウエア火山から海岸線まで約 **30km** の舗装道路。

右も左も視界すべて溶岩地帯。1969年から1974年の噴火による溶岩に埋め尽くされた一帯。



当たり前のようにずーっと溶岩台地が広がっているもので、「あれ、これ全部溶岩なのか…」と混乱するほど。アア溶岩とパホエホエ溶岩の違いが明確に見て取れます。

☞アア溶岩 **a a lava** : 溶岩流が固まる時にトゲトゲゴツゴツした表面になった溶岩。

大島もこのアア溶岩がおなじみ。

☞パホエホエ溶岩 **pahoehoe lava** : 表面が滑らかで丸みを帯びたもの。先に表面が冷え固まって、内部をマグマが流動的に動いているような形を形成するようです。縄状とかひだ状とか。

Pele の涙をご存じでしょうか。写真にある、涙のようなマグマの小さな塊です。これは粘り気の少ない溶岩が噴水のように噴出された溶岩噴泉によって涙のようになったガラス質の火山噴出物の一つ。きれいな涙の形。

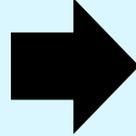
「持ち帰るのは思い出だけ。残していいのは足跡だけ」

いろいろと興味深いですが、自然のものは持ち帰ってはいけません。覚えておきましょう。 **Be Pono!**



⑤ キラウエア火山の火映現象見学！

夜18時半ごろ。キラウエア火山ハレマウマウ火口を見学。日が暮れて火映現象が確認できました。



19時前になると、街灯がないので真っ暗。グツグツした溶岩だまりが見えます。



双眼鏡で火口を見ると、時折激しく溶岩がはじけている状態が観察できました。基本的には沸騰した鍋のようにグツグツ煮えたぎっていますが、定期的にはじけていました。まさに火山が生きている…いや、地球が生きていることを感じました。

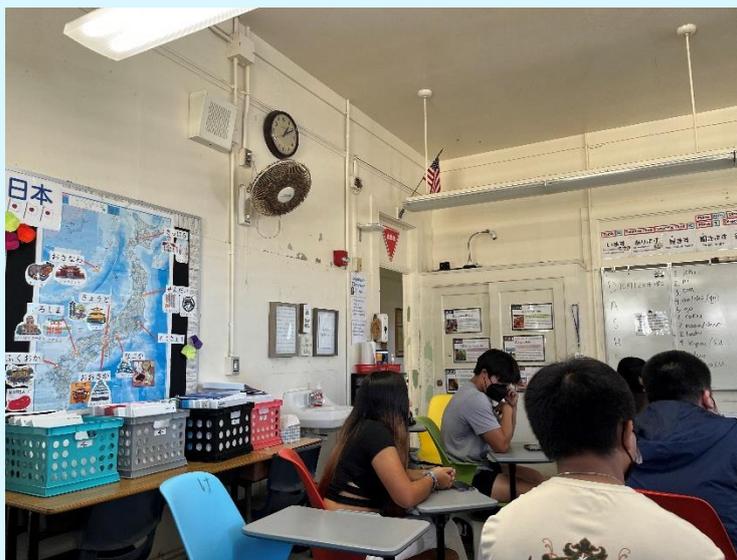


Day 4 : October 12^h

★ 4日目はついにハワイ ヒロ高校へお邪魔しに行きます！これまで **Zoom** で交流を続けてきたものの、直接会って話すのは今日が初めて！わくわくしながら赤マウナロアとともに朝を迎えました。

朝8時すぎにヒロ高校へ。シハタ先生に会うことができさっそくシハタ先生の授業を見学。

日本語の授業なので生徒のリスニングテストを兼ねて安野と菊池も日本語で自己紹介をしました（笑）



@シハタ先生の教室 日本の地図や日本時間の時計など、日本に関する情報や言葉がたくさん。

この時、奈良県からシハタ先生の家滞在してヒロ高校へ通う女子中学生にも会いました。日本の学校へ通えていなかったけれど、親のつながりでシハタ先生を訪ねてきたのだとか。たった1週間でも日本を飛び出してハワイ島まで飛び出てきた一人の女子に感動させられました。英語は全く話せません。しかし当たりまえのようにヒロの生徒とおしゃべりして授業に参加しています。「**まずは一步踏み出すこと**」「**まずは世界に飛び出してみること**」のハードルを下げた光景でした。一步踏み出したその先に不安を抱えるものですが、一步踏み出してしまえば、暖かく受け入れてくれる世界があるのだなと。その生徒は生き生きと日々過ごしていました。きっと彼女はこの先も広い視野を持っていろんな世界に踏み出していけることでしょう。





Hawaii Project ではヒロ高校の生徒に手紙を書いていました。郵送予定でしたがちょうどいいので直接手渡ししました。3度の **Zoom** で名前を憶えてくれたようで「OOからだ」「絵がうまい」など、かなり喜んでくれていました！そしてみんなからアイデアをもらったステッカーもプレゼント！

みんなこれからもよろしくね！

午後にはヒロ高校の校長先生とお話する時間をいただきました。

姉妹校締結を考えている我々は、「なぜヒロ高校なのか？」について直接説明し、姉妹校締結とその後のますますの交流の深化・継続の意思表示をさせていただきました。

校長先生は「ハワイ島での姉妹校締結に関する書類や手続きについてわかっていない部分があるので、調べてから進めていきます」という前向きなお返事をいただきました。姉妹校という肩書が形骸化しないよう、これからも少しずつでも長く、長くつながっていきたいところです。



校長室にて、校長・シハタ先生と。

About Hilo High School

❖ハワイのヒロ高等学校 (Hilo High School)

ヒロ高等学校 (ヒロこうとうがっこう、英語: Hilo High School) は、アメリカ合衆国ハワイ州ハワイ島のヒロ地区に2つある公立高校 (9年~12年) で、1976年にワイアケア高等学校が開校するまではヒロ地区で唯一の公立高校であった。【引用 Wikipedia】

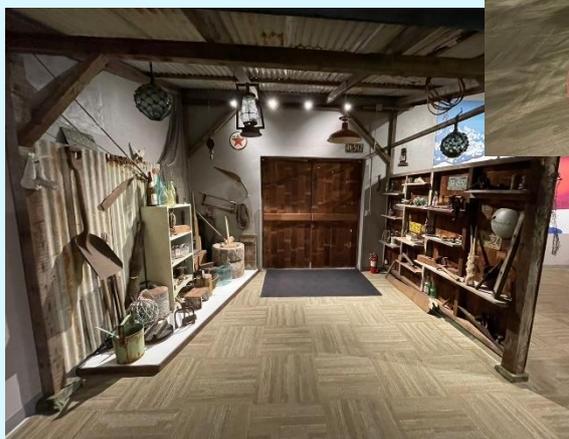
また、上のバイキングのロゴは、ヒロ高校のイメージロゴで、スクールカラーは**ブルー**と**ゴールド**です！



ヒロ高校を後にした我々はシハタ先生とともに **Hawai'i Japanese Center** へ向かいます。



ハワイ日系人会館は、地域の文化、研究教育機関としての役割を担っています。ここでは、価値の高い書籍や工芸品を中心に、歴史的に貴重な品々を次世代へ受け継ぐために収集・保管・展示しています。地域からの寄付金とボランティアに支えられ、ハワイ日系人会館は大規模な施設改修をすることができました。今日のハワイ日系人会館には、展示会場、ギフトショップ、コンファレンスルーム、ギャラリー、公文書の作業室、図書館を備えています。最近、広大な倉庫がコレクションの保管場所として改修されました。訪問した約1か月前にリニューアルオープンしたばかりのようで、ハワイと日系人の歴史が時系列に沿って、しかも実際の品物の展示とともに学ぶことができました。



ここでは館長の **Arnold T. Hiura** さんをはじめ、ハワイ島日系人商工会前会頭 **Dwayne Mukai** さん、**Tomas Goya** さんが歓迎してくださいました。



非常に驚いたことは、この **Hawai'i Japanese Center** では日系人に関する貴重な記録や書物が保管されていたことです。さらにはこの書物を引き継いでいくために、最新スキャン機を購入し、データ化するという取り組みまでなさっていました。すべては館長のアーノルドさんの熱心な取り組みのおかげだそうです。アーノルドさんはレコードなど日本の文化的なグッズも収集しており、これまでの日本をよく知る方でした。

これからハワイ島と歩んでいこうとするのならば、我々ももっと日系人の歴史を学ばなくてはならないなと、改めて思いました。



日系人の歴史や文化を、そして日本の歴史と文化をたゆまぬ努力で収集・保管しています。私たち日本人も同様に歩み寄って、互いの歴史と文化を尊重していかねばなりませんね。

そして夕方…ついにあのお方に面会することができました…**The Mayor Mr. Roth!!**

そう、ハワイ島郡長 **Mitchel D. Roth** 氏との再会です。シハタ先生とともにロス郡長のいる **Mayor's Office** を訪問。ロス郡長が伊豆大島を訪問して以来、約3か月という短いスパンで再会できました！時間を割いていただき、光栄です。**Nature Guide** を受けたことやヒ口高校を訪問したことを報告し、また、伊豆大島を訪問した後の話を聞かせてくださいました。後述しますが、伊豆大島から受けたおもてなしに深く感銘を受けたようで、その後日談を教えてくださいました。



郡長さんの椅子に座らせていただきました！
我々がふざけていても気に留めず、むしろ面白がって写真を撮っていました（笑）
えらい立場でありながら、それを出さず、
対等な目線でおもてなしして下さいました。

今回は会えませんでした、**Zoom** で郡長補佐の **Jane Clement** さんとも再会できました。
終始笑いの絶えない時間で、ロス郡長に至っては日本語で高度なボケを連発…シハタ先生を含む日本人の我々が完全において行かれていました…本当におちゃめな人です！そしてジェーンさんは自分のオフィスにハワイアン弁当の容器を飾ってっていました！うれしいですね！

Day 5 : October 13th

★5 日目はヒロのダウンタウンを散策しました。朝から付き合ってくれたのは **Dwayne Mukai** こと、マイフレンド、ムーキー！朝から車を出してくれてドライブしてくれました。

今回の旅ではムーキーに非常にお世話になりました。車を出してもらい、ヒロにある大神宮へ行ったり、生のマカダミアナッツを食べる体験をさせてくれたり…まるで古くからの友人のように接して、一緒に行動してくれました。



左から菊地・紀子夫人・ロス郡長・広島県知事・ゴヤさん・安野

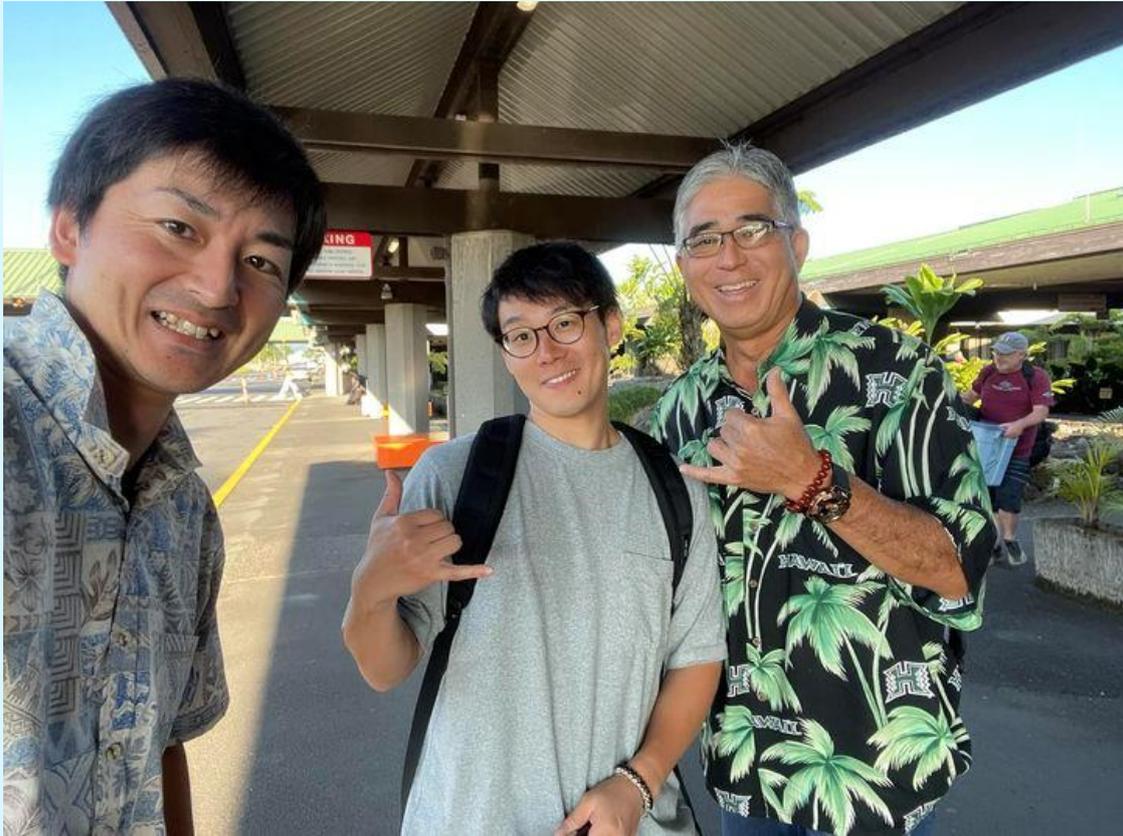
伊豆大島ですでに交流している安野はもちろん、今回の旅では菊池もハワイ島のみんなと深く交流できました。最古の姉妹島都市の人間だからでしょうか？いや、そもそもハートの広さと暖かさのある人たちなんです！

だからなのか…この時ちょうど広島県人会50周年を記念して広島県知事ご一行がハワイ島へ親善訪問しており、そのパーティーに飛び入り招待されてしまいました！すごすぎる！東京都のいち教員が場違いすぎないか…?!と思いつつ、おそるおそる参加。常にムーキーやゴヤさんがついていてくれて安心しました。郡長はもちろん、広島県出身のシハタ先生ご夫妻も参加。気づけば前日に会った人たちばかり…すごい人たちと知り合いになったのね…と改めて実感。

右の写真は郡長ご夫妻、広島県知事、ゴヤさんとのショットです。我々をあたたかく迎え入れてくれたハワイ島の人々に深く感謝いたします！

Day 6 : October 14th

★いよいよ帰国の日。この日もムーキーが車で送迎してくれました。



さて、後述するとしていた、なぜハワイ島の人たちがここまで親切に、親密におもてなしをしてくれたか。すべては7月末の郡長ご一行の伊豆大島来島にありました。

シハタ先生、ロス郡長、ロス郡長夫人、ムーキー…みんなが同じことを言っていました。

伊豆大島の人々から受けたおもてなしが旅の中で一番心に残っていて、ハワイ島に帰ってきて最初の会議では、一言目に「伊豆大島のおもてなしに感銘を受けた」、二言目には「ハワイアン弁当が素晴らしかった」だったのだそう。

受けた恩をいかにして返せるか…それをみんなで考えたそうです。本当にありがたい話です。これまで交流が途絶えつつあったハワイ島と伊豆大島。60周年という節目で盛り返しはしたものの、アクションを起こせなかったのは事実。申し訳ないことをしたという思いはロス郡長を始め、ハワイ島の人々に伝えてきました。しかしそれでもこのように受けた恩を倍で返そうとする心の広さに、頭が上がりません。伊豆大島で受けたおもてなしの感銘の深さは後日談ですので、伊豆大島には伝わっていません。これは僕たちが伊豆大島のみなさんに持って帰らなければいけないという使命感を感じました。

大島ハワイ島親善協会のみなさん、商工会のみなさん、町役場の皆さん、伊豆大島のみなさん！

我々の思いはハワイ島のみなさんに伝わっていましたよ～！！！！！！

この関係は絶やさずに、ますます仲良く、手を取り合って交流し続けていきましょうね！！

Food Report! Hawaiian Dishes



ハワイアン航空機内食はロコモコ!



でかオムレツ! サイドのハムもでかい! 全部でかい!



ハンバーガーとカラマリのフライ! イカフライの別称ですね



ハワイアンヌードル サイミン↑



Ken's House Pancakes のワッフル。でっかい。



←クレーターでサンドイッチ!



オートミール→



Hilo 高校の食堂食! ドライカレーでした。

生徒には不人気…笑



Café Pesto のパスタとピザ!

イタリアンな日もありました。



←ロコモコ

ハワイアンつけマグロ
のポキ↓



感想

Kosuke Yasuno

「目的」にもあるように、自分はどれほどハワイのことを知っているのか？今回の視察を経て無知だったことを学びました。約1週間ですが、自然を学び、言葉を学び、日系人の歴史を学び、そしてそれらはすべて人のつながりがあったがゆえに学んでいるということ実感し…。我々に関わって、「友達だ」と言って古い友人であるかのようにハワイ島で待っていてくれたハワイ島のみなさんの心の深さ・暖かさに心を打たれました。

ハワイの固有種は外来種によって肩身の狭い思いをしている。あらゆる自然の中に神様はいる。ハワイ島は火山と共生している。かつてのポリネシアンは植物から生きる力を得ていた。カメハメハ大王の運命。日系人の歴史があって今のハワイと日本の深い関係が生まれている。ダウンタウンにはホームレスがいる。

多くのことを学んだようで、実は氷山の一角なんだろうと思います。しかしこの1週間で確実に、ぐっと興味が深まり、そしてハワイ島をもっと近くに感じることができました。これからもっとハワイ島との関係を深めたいからこそ、もっともっと相手を知らなくてははいけませんね。ハワイ島に行くことができ本当に良かった！ハワイ島の皆さんは大島のが大好きですよ！これからももっともっと互いの関係を深め、盛り上げていきましょう！19時間の時差を、熱いハートで埋めていこう！

約1週間という長い視察をさせてくれた学校、多くの知識と体験をさせてくれた **Nature Guide** の長谷川久美子さん、普段の **Zoom** から今回の視察まで常にサポートしてくれたシハタ先生、「友達」と言ってくれた **Mookie**、今回の旅で関わった人みんなに **Mahalo! We'll definitely see you again!**

Atsushi Kikuchi

ハワイ島（敢えて **Big Island** と呼ぼう）訪問から3カ月ほど経とうとしている。記憶が熱いうちに書こうと思っていたが、気付いたら2023年になってしまった。しかし、時間が経って、じっくりと「あの訪問にはどんな意義があったのだろう。」と改めて自分自身に問いかけながら、あの瞬間を振り返りたいと思う。書きたいことは山ほどあるが、詳細は安野先生のすばらしいレポートに任せ、私はあえて違った視点から、日本人のもつ典型的ないわゆる「南国リゾート」のイメージを良い意味で覆したい。まず、**Big Island** には日系人が多く住んでいて、日系社会なるコミュニティを形成している。日本語を話せない人たちがほとんどだが、代々、日本の文化を（多分、私たちよりも）大切に守り続けている。国籍や言語は違えども、心は日本とつながっている。そんな人たちがハワイには多く住んでいるのだ。本国にいる我々は、彼らとのつながりを感じながら、姉妹島としての交流を発展させたいと切に願う。また、**Big Island** には、ダイナミックな火山と島固有の生物たち、ハワイ諸島に初めに定住したポリネシア人から今に至るまでの人々の歴史や文化など、リゾートとして「消費」される対象としてのハワイではなく、知的好奇心をかき立てる不思議と驚きでいっぱいである。**Big Island** の自然や文化を保護するために、観光の在り方そのものにメスを入れ、ツーリスト自身が自然保護や持続可能な社会へ寄与する、新たなツーリズムの在り方を提案しているガイドの長谷川さん。そして、私たちを友達のように温かく迎えてくれた、日系人協会のムーキー、ハワイ郡長ミッチ・ロスとノリコ夫人、ヒロ高校のシハタ先生。我々が現地で触れ合った人たちから感じることは、社会全体から醸し出される「大らかさ」だ。広島県知事ご一行が出席したパーティーに、場違いが我々2人をムーキーの友達として招待してくれる心の広さ、どんな人も巻き込んで同じ空間を楽しめる包摂力。日本が抱える様々な課題を解決するヒントが、**Big Island** にはある気がしている。**Big Island**、ぜひ一度訪れて、その雰囲気味わってほしい。

!!Special Thanks!!

☆The best hospitality in Hilo☆

Mitchel D. Roth

ハワイ郡長さん。奥様が日本人ということで日本語がとても上手。Mayor's office を訪問した際は日本語で高度な冗談を連発していました。郡長さんの椅子に座らせてもらったのですが、その光景を笑って写真に撮るなど、おちゃめな方です。自分の立場におごらず、常にハワイのため、人々のためにできることすべてに力を貸してくれる、そんなハワイ郡のリーダーです。

紀子 Roth 郡長夫人

とても元気で明るく、アクティブ！夜なのに、我々のために車を出してショッピングに連れて行ってくれました。シハタ先生と一緒にお琴を習っているのだとか。優しく穏やかにRoth郡長を支えています。

Jasmin Urasaki (Principal of Hilo High)

暖かく迎え入れてくれたヒロ高校の校長先生。つたない英語での安野の姉妹校盟約への意思表示をしっかりと聞いてくださいました。

Shehata Aya 先生

大島高校とハワイ島がつながった最初の窓口となってくれた先生です。いざ会ってみると、元気ハツラツ、頼りになるお姉さまでした！広島県出身で、たまに訛りができます。本当にお世話になっています！

Dwayne Mukai

われらのマイフレンド！誰よりも気さく！いろいろなお世話をしてくれて、最初から最後までムーキーには楽しませてもらいました！日本文化にも詳しい。ずっと友達だったかのような気持ちになりました。

Arnold T. Hiura

Hawai'i Japanese Center 館長。日本の歴史、日系人の歴史を大事に引き継いでいくべく、全力を尽くしている、まさに歴史の管理人。

Thomas Shigeto Goya

ハワイ島日系人協会前会長。ハワイ島でのホームステイの斡旋などにも携わっており、今後もお世話になるであろうお方。わざわざ会いに来てくださいました！ムーキーと漫才のようなやり取りをしながらシハタ先生をいじるといふ…みんな仲良しですね。

Toby D. Taniguchi

ハワイのスーパーといえば KTA！その KTA の現社長さん。代々引き継がれてきた歴史と伝統ある KTA を背負っています。お土産に KTA の大きなボトルをくれました！

6th. February. 2023

Thank you for reading!!

Edited by Kosuke Yasuno
 Atsushi Kikuchi

Source Wikipedia
 大島ハワイ島親善交流協会

Thanks Hawai'i Hilo Mayors Office
 Hilo High School
 Hawai'i Japanese Center
 Japanese Community Association of Hawaii
 Hawaii Nature Explores

And you all !